

2021年9月30日

各位

会社名 株式会社 アスタリスク

代表者名 代表取締役執行役員社長 鈴木 規之

(コード番号：6522 東証マザーズ)

問合せ先 取締役執行役員 管理統括室長 石田 泰一

(TEL. 050-5838-7864)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2021年9月30日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、2021年8月期（2020年9月1日から2021年8月31日）における当社グループの連結業績予想は、次のとおりであり、また、最近の決算情報等については、別添のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円・%)

項目	決算期	2021年8月期 (予想)			2021年8月期 第3四半期累計 期間 (実績)		2020年8月期 (実績)	
		対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率	
売上高		1,746	100.0	24.9	1,468	100.0	1,398	100.0
営業利益		223	12.8	98.9	284	19.4	112	8.0
経常利益		223	12.8	120.4	286	19.5	101	7.3
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益		172	9.9	150.4	220	15.0	68	4.9
1株当たり当期（四半期）純利益		134円90銭			172円59銭		53円88銭	
1株当たり配当金		0円00銭			—		0円00銭	

(注) 1. 2021年8月期（予想）は、2021年6月までの実績に、2021年7月、8月の見通しを踏まえて、2021年7月に算出したものとなります。

2. 1株当たり当期（四半期）純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。

【2021年8月期業績予想（連結）の前提条件】

1. 当社グループ全体の見通し

当社グループは、当社（株式会社アスタリスク）と海外子会社3社により構成されております。当社グループは「モノ認識」と「モバイル」を軸とした事業展開を行っております。独自の自動認識技術の研究開発を行い、画像認識技術やバーコードリーダー、RFIDリーダーから、各業態の基幹システムや業務アプリケーションの運用まで一気通貫でハードウェアとソリューションパッケージを提供し、デジタル技術を活用して省力化や効率化を図るスマートファクトリーやスマートストアといった、様々な業態のスマート化を推進しております。

当社グループの事業は、自動認識技術を使った製品・サービスの開発・販売を行う AsReader 事業と、ハードウェアやソフトウェア、ネットワークなどを組み合わせてユーザーにとって利便性の高いシステムを構築し、提供するシステムインテグレーション事業で構成されております。

2021年8月期は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済の先行きが不透明な状況下において、業務のスマート化を推進する動きが加速したこともあり、当社主力製品である AsReader の需要は大きく増加し、物流業界、小売業界、自動販売機業界、医療業界を中心に販売が伸びております。

その結果、当第3四半期累計期間の連結業績は、売上高は1,468百万円、営業利益は284百万円、経常利益は286百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は220百万円となりました。

当社グループの2021年8月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の蔓延による営業活動の制限や、世界経済の低迷など市場環境の悪化はあったものの、オンライン等による営業活動などの対策を迅速に実施したことや、業務のスマート化のための当社製品に対する市場のニーズが高まったことなども追い風となり、売上高1,746百万円（前期比24.9%増）、営業利益223百万円（前期比98.9%増）、経常利益223百万円（前期比120.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益172百万円（前期比150.4%増）と増収、増益を見込んでいます。

なお、当連結会計年度は大型の案件が上期に集中したことにより、下期は上期に比べて低い利益水準となっております。特に2021年8月期第4四半期会計期間は大型案件の納入予定がないことや、上場のための費用を期末に見込んでいること等もあり、利益は低い水準となる見込みです。

なお、当該業績予想数値は、2020年9月から2021年6月までの実績数値に、2021年7月以降の予測数値を合算して策定した数値となっております。

2. 項目別の見通し

(1) 売上高

売上高は、具体的な案件に基づき、案件別に製品販売数量、売値を想定し、市場特性や商談の状況を踏まえて実現の可能性を見極め、売上計画を作成しております。具体的な案件については、さらにその獲得確度により案件を選別し、「既に得意先側の社内稟議決裁が済んでいる案件、得意先の担当者から社内稟議は未決裁ながらも内諾を得ている案件」については「堅い案件」とし、売上計画にすべて計上することとしております。これらの段階に至っていない案件については、得意先の担当者から具体的な投資計画としてニーズを確認しているもののうち、その内容（当社が有利な分野かなど）や競合の有無、当該得意先との過去の実績などから、当社の獲得が見込まれるものを売上計画に計上しております。また、具体的な案件に基づかない新規案件の売上計画については、販売対象となる業界別に、過去の実績や現在の潜在顧客リストから、販売が見込まれる数量を見積り、売上計画に計上しております。

2021年8月期第3四半期累計期間の売上高実績は、国内で医療業界、アパレル業界、物流業界、小売業界、自動販売機業界など、米国・欧州では、畜産業界など、大型案件の成約が進みました。2021年8月期第4四半期会計期間につきましては、成約済みまたは商談の最終段階にある案件の積み上げにより作成しています。

計画した案件の獲得・販売が順調に進んでおり、結果として、2021年8月期第3四半期累計期間の連結売上高は1,468百万円となっております。2021年8月期通期の連結売上高は1,746百万円（前期比24.9%増）を見込んでおります。

<AsReader 事業>

AsReader 事業の売上高は、当社製品 AsReader シリーズの売上高、保守売上高、アプリライセンス売上高で構成されています。それぞれの売上高は、前述のとおり、具体的な案件別に製品販売数量、売値を想定して、市場特性や商談の状況を踏まえて実現の可能性を見極めて作成しております。

(単位：百万円)

項目 \ 決算期	2021 年 8 月期 (予想)	2021 年 8 月期 第 3 四半期累計 期間 (実績)	2020 年 8 月期 (実績)
AsReader シリーズ	1,224	1,042	883
保守	197	167	178
アプリライセンス	8	5	11

- AsReader シリーズの売上高は、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、業務のスマート化を求める企業からのニーズにマッチした製品として、物流業界、小売業界、医療業界を中心に導入が促進され、2021 年 8 月期は、2020 年 8 月期を上回る結果となる見込みです。販売台数は実績ベースで、2020 年 8 月期の 16,860 台に対して、2021 年 8 月期第 3 四半期累計期間は 26,424 台となりました。

計画した案件が順調に進捗していることもあり、2021 年 8 月期第 3 四半期累計期間の連結業績における AsReader シリーズ売上高は 1,042 百万円となりました。2021 年 8 月期通期の連結業績における AsReader シリーズの売上高は 1,224 百万円 (前期比 38.6%増) を見込んでおります。

- 保守売上高は、AsReader シリーズを導入した企業に対する長期サポートサービスの AsReaderCare 売上が中心となっております。現在、ほとんどの導入企業に対して一定期間の無償メーカー保証を付保しておりますが、万が一の備えとしての AsReaderCare (有償保証サービス) への加入を各社に提案し、ストックビジネスとして保守売上拡大に注力しています。

保守収益の獲得は順調に進み、2021 年 8 月期第 3 四半期累計期間の連結業績における保守売上高は 167 百万円となっております。2021 年 8 月期通期の連結業績における保守売上高は 197 百万円 (前期比 10.6%増) を見込んでおります。

- アプリライセンス売上高は、AsReaderApps のライセンス売上です。在庫管理、棚卸、発注、勤怠管理、POS レジ、報告書作成など、業務に関する様々なアプリを開発・提供し、AsReader シリーズと親和性の高いアプリケーションを揃えております。現時点では、既存システムとの連携を選択される導入企業が多く AsReaderApps の導入は進んでいない状況ですが、今後の営業活動において AsReaderApps を活用した業務改革の提案活動を強化する予定です。

2021 年 8 月期第 3 四半期累計期間の連結業績におけるアプリライセンス売上高は 5 百万円、2021 年 8 月期通期の連結業績におけるアプリライセンス売上高は 8 百万円 (前期比 27.2%減) を見込んでいます。

上記の結果、AsReader 事業の連結売上高は、2021 年 8 月期第 3 四半期累計期間では 1,215 百万円となっております。2021 年 8 月期通期では、1,430 百万円 (前期比 33.3%増) を見込んでおります。

<システムインテグレーション事業>

システムインテグレーション事業は、AsReader シリーズ導入先の業務システムを中心に、「モバイル端末での利用を中心としたアプリケーション」「AsReader によるクラウド型業務システム」などの業務システムの構築を主力としている事業です。

小売業界向けの一部が 6 月以降にずれしたことによるマイナス要因はあるものの、アパレル業界向けの受注が順調に進捗したことなどにより、2021 年 8 月期第 3 四半期累計期間のシステムインテグレーション事業の連結売上高は 253 百万円となっております。

2021 年 8 月期通期では、店舗向け開発の検収時期が遅れるなどのマイナス要因があり、連結売上高は 315 百万円 (前期比 2.9%減) と、昨対でわずかに減収の見通しとなっております。

(2) 売上原価、売上総利益

当社グループの売上原価のうち、AsReader 事業について発生する売上原価は製品仕入原価の他、保守業務にかかる労務費や修理部材の購入費であります。製品開発機能は自社内に保有しておりますが、当社グループは、自社に生産設備を持たないファブレスメーカーであり、ハードウェアの生産は海外企業に製造委託する EMS 生産となっております。また、金型等の支給による生産委託など、独自製品の拡大に向けた取組みを推進しております。生産委託先の選定・管理については、自社内に生産管理セクションを置き、選定時の委託先現地調査の実施、1年に1回の委託先現地監査を行い、当社グループの求める品質水準と納期を守ることが可能な委託先であるかの判断を行ったうえで、生産委託をすることとしております。仕入単価については、既存製品については現時点の製品単価を、新製品については当該製品の製造に見込まれる原価を過去の実績等を踏まえて計算を行った結果を製品単価としております。

システムインテグレーション事業について発生する売上原価は社内システム開発人員の件費や、外部委託先への外注費になります。外注先の選定は、①iOS/Web 開発の当社グループのニーズに合うか、②十分なりソースを持っているか、③相見積りを実施した上で、単価が妥当か、④進捗管理が十分にできる体制があるか、⑤今までどのような開発を請け負ってきたか、などについて評価を行い、問題が無いと判断した相手先に外注することとしております。

<AsReader 事業>

AsReader 事業の売上原価は、売上計画に織り込んだ販売数量に仕入単価を乗じた金額と保守等にかかる原価を合算して、計画値としております。

小売業界、自動販売機業界、物流業界などへの大型の案件が順調に成約し、2021年8月期第3四半期累計期間のAsReader事業の売上原価は545百万円となっております。通期においては、674百万円（前期比32.8%増）を見込んでおります。

2021年8月期第3四半期累計期間は、AsReader事業において自動販売機業界への導入が一気に進んだ赤外線通信リーダーの原価率が従来機器と比較して低かったことが、利益改善に大きく寄与する結果となりました。2021年8月期第3四半期累計期間の売上総利益は669百万円、売上利益率は55.1%となっております。2021年8月期第4四半期会計期間は売上総利益が86百万円と、第3四半期累計期間の実績と比較して小さな利益に留まり、売上利益率は40.0%に下落する見通しです。これは、2021年9月以降に売上計上を見込む飲料メーカー向けなど大型納入を控えて出荷が減少しているタイミングであること、機能を追加して新製品として販売したGUNタイプのAsReaderについて旧タイプ在庫の評価損15百万円を見込んだこと等によるものです。2021年8月期通期の連結業績におけるAsReader事業の売上総利益は756百万円、売上利益率は52.8%（前期比0.2ポイント増）と見込んでおります。

<システムインテグレーション事業>

システムインテグレーション事業の売上原価は、販売計画の案件に対して、過去の実績等から必要工数を算定し、社内人件費・外注先への委託費等を積み上げて計画としております。

2021年8月期第3四半期累計期間のシステムインテグレーション事業の売上原価は202百万円、売上総利益は50百万円となっております。小売業界、アパレル業界向け案件において原価率が高かったことから、2021年8月期第3四半期累計期間の売上利益率は20.1%にとどまっています。2021年8月期通期の連結業績においては、システムインテグレーション事業の売上原価は246百万円（前期比3.0%増）、売上総利益は68百万円（前期比19.4%減）となり、売上利益率は21.8%（前期比4.5ポイント減）となる見通しです。

以上の結果、2021年8月期第3四半期累計期間の連結業績における売上原価は747百万円、売上総利益は720百万円となっております。2021年8月期通期の連結業績においては、売上原価は921百万円（前期比23.2%増）、売上総利益は824百万円（前期比26.8%増）を見込んでおります。

売上利益率については、売上利益率の高いAsReader事業の売上高の伸び率が高かったことにより、全社の利益率が向上、2021年8月期第3四半期累計期間の連結業績における売上利益率は49.1%となっております。2021年8月期通期の連結業績における売上利益率は47.2%（前期比0.7ポイント増）を見込んでおります。

事業セグメント別の売上総利益は下表のとおりとなっております。

(単位：百万円)

決算期 セグメント	2021年8月期 (予想)	2021年8月期 第3四半期累計 期間(実績)	2020年8月期 (実績)
AsReader事業	756	669	564
システムインテグ レーション事業	68	50	85
売上総利益合計	824	720	650

(3) 販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費の主な内訳は、人件費、支払手数料、研究開発費、販売促進費であります。

人件費は、将来の人員計画に基づき算定しております。当社グループは製品・サービスの拡販、新製品開発のための人材採用を積極的に進めております。2020年8月期末に88名であったところ2021年8月期末において101名(前期比14.8%増)となること、役職手当と賞与支給額の増額を見込んでおり、2021年8月期の人件費は299百万円(前期比27.6%増)となる見通しです。

支払手数料は、主に新規上場に係る費用、特許取得に関する費用、社内業務の外注費用、企業調査費用、出向者人件費がその内訳であり、各項目について計画遂行上発生が見込まれる金額を積み上げて計画を策定しております。新規上場申請費用の計上を見込んでいる一方で、2020年8月期は訴訟費用が発生しており、2021年8月期は当該訴訟費用の減少が見込まれます。結果として、93百万円(前期比1.1%減)となる見通しです。

販売促進費は、主に展示会出展費用であります。年間展示会出展回数とブース面積、ブース設営費用から発生が見込まれる金額を想定して計画を策定しております。2021年8月期の展示会出展は新型コロナ禍の影響もあり5回(2020年8月期は7回)となり、販売促進費は前期比23.8%減の34百万円となる見通しです。

以上の結果、2021年8月期の販売費及び一般管理費は601百万円(前期比11.8%増)、営業利益は223百万円(前期比98.9%増)を見込んでおります。

なお、2021年8月期第4四半期会計期間は、来期獲得を見込んでいた大型案件の準備期間であることや、株式上場費用を見込んだこともあり、営業損失が発生する見通しとなっております。

(4) 営業外損益、経常利益

営業外収益については、為替差益4百万円等13百万円の計上を見込んでおります。

営業外費用については、支払利息5百万円等12百万円の計上を見込んでおります。

以上の結果、2021年8月期の経常利益は223百万円(前期比120.4%増)を見込んでおります。

(5) 特別損益、親会社株主に帰属する当期純利益

特別利益については、特許権売却益18百万円と補助金収入3百万円等24百万円を見込んでおります。

特別損失については、見込んでおりません。

法人税等については、利益計画に基づいて法人税等を算出しております。

以上の結果、2021年8月期の親会社株主に帰属する当期純利益は172百万円(前期比150.4%増)を見込んでおります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合等の様々な要因によって異なる場合がございます。

以上



2021年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年9月30日

上場会社名 株式会社アスタリスク 上場取引所 東
 コード番号 6522 URL <http://www.asx.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役執行役員社長 (氏名)鈴木 規之
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員管理統括室長 (氏名)石田 泰一 (TEL)050(5536)7864
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第3四半期の連結業績(2020年9月1日~2021年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	1,468	—	284	—	286	—	220	—
2020年8月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年8月期第3四半期 228百万円 (—%) 2020年8月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第3四半期	172.59	—
2020年8月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、2020年8月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年8月期第3四半期の数値及び2021年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第3四半期	1,208	525	43.5
2020年8月期	1,056	296	28.1

(参考) 自己資本 2021年8月期第3四半期 525百万円 2020年8月期 296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年8月期	—	0.00	—	—	—
2021年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,746	24.9	223	98.9	223	120.4	172	150.4	134.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年8月期3Q	1,280,000株	2020年8月期	1,280,000株
2021年8月期3Q	—	2020年8月期	—
2021年8月期3Q	1,280,000株	2020年8月期3Q	—

(注) 当社は、2020年8月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年8月期第3四半期の期中平均株式数(四半期累計)を記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスのワクチン普及や米国の追加経済対策による景気回復期待はあるものの、米中の対立や日韓関係に対する警戒感、更に新型コロナウイルスの影響が長期化し、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境下で、当社グループでは、中長期的な成長を維持する観点から画像認識技術をはじめとした技術開発を積極的に進め、さまざまな業界のDXのためのソリューションの提供を拡大してまいりました。

海外におきましては、米国の牧場向け、飲料メーカー向けなどの案件を進めるとともに、新規顧客開拓に鋭意努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,468,180千円、営業利益284,847千円、経常利益286,561千円、親会社株主に帰属する四半期純利益220,915千円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①AsReader事業

AsReader事業の連結売上高は1,215,103千円、セグメント利益は366,952千円となりました。当社主力製品であるAsReaderの販売では、国内では、新たにホームセンター、工具メーカー向け納入があった他、飲料メーカー向けや医療業界への販売が堅調に推移しました。海外向けでは、新型コロナウイルスの影響により展開が遅れておりますが、米国において新たに畜産業でRFIDリーダーが使用されることが決まり、2020年12月より納入が行われております。さらに飲料メーカー向けなどの大型案件の受注を獲得し、海外における市場拡大が進んでおります。

また、セミセルフレジに関する特許権を第三者に売却するとともに、当該特許の活用や技術的なコンサルタントに関する業務契約を締結し、コンサルタント収入を確保することとなりました。

②システムインテグレーション事業

システムインテグレーション事業の連結売上高は253,077千円、セグメント利益は42,575千円となりました。飲食店向けのシステム開発、家電量販店向けシステム開発、アパレル向けシステム開発、自動販売機業界向けシステム開発、リース会社向けシステム開発があり、一部案件は計画より進捗が遅れておりますが、概ね堅調に推移しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、1,208,584千円となり、前連結会計年度末の1,056,515千円と比べ、152,069千円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金の増加234,044千円、原材料及び貯蔵品の増加16,466千円、有形固定資産の減少15,174千円、売掛金の減少41,077千円、商品及び製品の減少44,324千円によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、683,449千円となり、前連結会計年度末の759,801千円と比べ76,352千円の減少となりました。その主な要因は、未払法人税等の増加69,792千円、流動負債のその他に含まれる前受金の増加55,345千円、賞与引当金の増加20,187千円、買掛金の減少11,911千円、1年内返済予定の長期借入金の減少24,798千円、長期借入金の減少29,056千円、短期借入金の減少209,000千円によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、525,135千円となり、前連結会計年度末の296,714千円と比べ228,421千円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加220,915千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の連結業績予想については、本日開示いたしました「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	247,889	481,933
売掛金	342,103	301,026
商品及び製品	284,905	240,580
原材料及び貯蔵品	34,165	50,632
その他	60,060	69,502
貸倒引当金	△2,754	△2,420
流動資産合計	966,370	1,141,255
固定資産		
有形固定資産	32,582	17,408
無形固定資産	21,170	13,675
投資その他の資産		
その他	36,747	36,600
貸倒引当金	△355	△355
投資その他の資産合計	36,392	36,245
固定資産合計	90,145	67,329
資産合計	1,056,515	1,208,584
負債の部		
流動負債		
買掛金	143,002	131,091
短期借入金	270,000	61,000
1年内返済予定の長期借入金	89,884	65,086
未払法人税等	27,094	96,886
賞与引当金	23,618	43,806
製品保証引当金	9,539	10,065
その他	73,386	181,293
流動負債合計	636,525	589,229
固定負債		
長期借入金	121,632	92,576
資産除去債務	1,643	1,643
固定負債合計	123,275	94,219
負債合計	759,801	683,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	150,000	150,000
資本剰余金	140,000	140,000
利益剰余金	5,234	226,150
株主資本合計	295,234	516,150
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,479	8,985
その他の包括利益累計額合計	1,479	8,985
純資産合計	296,714	525,135
負債純資産合計	1,056,515	1,208,584

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
売上高	1,468,180
売上原価	747,541
売上総利益	720,638
販売費及び一般管理費	435,791
営業利益	284,847
営業外収益	
受取利息及び配当金	13
為替差益	3,870
雑収入	1,183
営業外収益合計	5,067
営業外費用	
支払利息	3,353
営業外費用合計	3,353
経常利益	286,561
特別利益	
補助金収入	7,636
受取保険金	33
特許権売却益	18,000
その他	42
特別利益合計	25,711
税金等調整前四半期純利益	312,273
法人税等	91,358
四半期純利益	220,915
親会社株主に帰属する四半期純利益	220,915

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	220,915
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	7,506
その他の包括利益合計	7,506
四半期包括利益	228,421
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	228,421

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。